

目次

[概要](#)

[関連情報](#)

概要

この資料はメッセージが E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) を通してどのように処理されるかデバッグするためにトレース ツールを使用することを記述します。

どのようにメッセージが ESA によってどのように処理されるかデバッグできますか。

メッセージがおよび解読されたたらい ESA、またはどのように処理されるかが持っていれば予想通り処理しないメッセージにおいての特定の問題を疑問に思う場合システム 管理 > GUI からのトレースを使用できままたはエミュレートによってシステムによってメッセージのフローをデバッグするために CLI で、トレースしまたテスト メッセージを送信します。トレースは特に ESA で利用可能な 進んだ機能の多数を結合したら強力なトラブルシューティングまたはデバッグツールのどれである場合もあります。

エミュレートし、メッセージを印刷します「引き起こされよう」またはシステムの現在のコンフィギュレーションによって影響を与えられてトレースしまた機能サマリーをリスナーによって受け入れられますように (を含むコミットされていない変更)。

注テスト メッセージは実際に送信 されません。

値を入力した後、トレースを『Start』 をクリックして下さい。

メッセージに影響を与えるシステムで設定されるすべての機能の概略は印刷されます。

ローカル ファイル システムからのメッセージ ボディをアップロードできます。(CLI で、と /configuration にディレクトリをアップロードしたメッセージ ボディ テストできます。)

概略が印刷された後、生じるメッセージを表示し、テスト メッセージを再度再実行するためにプロンプト表示されます。別のテスト メッセージを入力する場合、Trace ページおよび trace コマンドは入力した情報からの前の値を使用します。

注リストされている trace コマンドによってテストされる設定のセクションは順序で実行された。これは 1 つの機能の設定が別のものにどのように影響を与えるか知識で非常に役立ちます。たとえば、ドメイン マップ 機能によってトランスフォームされた受信者のアドレスは受信者のアクセス 表 (RATS) によって評価されるようにアドレスに影響を与えます。RATS から影響を受ける受信者はエイリアス 表によって評価されると同時にアドレスに、等影響を与えます。

ヒント： 十分にについてはアプライアンス GUI からのオンライン ヘルプを、詳細な情報参照して下さい。 最初に、トレース ツールを参照するシステム 管理 > トレースをクリックし次におよびサポート > GUI の上部右上隅からのオンライン ヘルプ 『Help』 を選択して下さい。

関連情報

- [Cisco 電子メール セキュリティ アプライアンス - エンド ユーザ ガイド](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)